

二子玉川五発所
平成元武張
元木五出
鈴木川五出
TEL. 760-4126

町では響く
まちづくりも
めぐりて

もご身近に
もつと便利に
モットに 平成三年四月

世田谷区の行政のしくみが
大きく変わります。

①身近なところで ②効率
的に ③総合的に行政の仕
事をこなしていくため、区
を5つの地域に分けて、そ
れぞれに地域事務所(仮称)
を設け、ここを拠点として
のまちづくりの地域行政を
行っていきます。

これは、本所に集中して
いる仕事をなるべく地域に
分け、地域単位の行政のし
くみをつくりあげていくこ
とにより、地域に密着した
総合行政をすすめる、区役所
―地域事務所―出張所の可
地域行政ネットワークに
よって、区民本位の区政を
さらに大きく前進させよう
とするものです。

区政をもつと身近に、窓
口をもつと便利に、打てば
響くまちづくりの実現を
世田谷区はめざしています。

今、用賀では駅前をまち
のシンボルゾーンとしてと
らえ、21世紀を屈指して新
しい魅力ある都市環境作り
が始まろうとしている。

①まちの生活拠点にふさわ
しい駅前空間の整備②高層
未来に核を中心とした商
業文化機能を開く

オアシス街 夢 希望
スビル 型の外
整備③緑地 用賀公園
れる用賀スロム 高橋直成
ナードの拡幅整備
④駐車場駐輪場の設置

等々を目的として、東急車
庫敷地跡を主体とする駅前
周辺の地区計画推進を盛り込
んで、今、高らかに建設の
槌が振り響ろされようとし
ている。

「まちづくり」

用賀四丁目 藤田 修明
用賀駅前ひろばに、29階
建てのビルを中心とした
オアシス街ができます。そ
の中に銀行、飲食店、プー
ル等、又いらか道も駅まで
完成されます。

駅前が一流のオアシス街と
なるので用賀商店街振興組
合も、これと共存できる商
店街の再開発を最重点課題
としています。建物だけを
良くするのでなく、商店街
全体を、駅前オアシス街と
和のとれたまちにしたいと
思います。この地は昔から
人情の厚いまち。特に心あ
たたまるまち。
皆さんに好かれるまちに
育てていきたいと思えます。

まちは変わる

さらに新しい二子への展望

玉川高野庭園が新店して
二十年、二子玉川は近代的
なショッピング街として、
大きく変貌して来ました。
又、今まさに二十一世紀
に向かつて、東地区が大きく
変わろうとしています。

発を中心にして、区民の憩いの
場である玉川の兵庫野親
水公園や、緑の街づくりと
しての森林公園の構想、健
康の為にスポーツの殿堂な
ど、住民のニーズに合った
調和のとれた開発が実現す
る事を心から願っています。

玉川町会長
吉岡 参夫



あいらびるひろば
浮世は廻る風ぐるま
昨日があって今日がすぎ
アツとゆうて、さか来る
二子三子夢の中

あちら変わればこちらもと
用賀駅前ノッポビル
29階ときいてます
銀行さんも入ります
郵便局もできるとか
飲食店がケンケン廻え
便利便にならうでしょ
のとか、続々、まじまじ
ヤ、パリ出来ませう摩天楼
再開発と聞いてます
何ができるかお楽しみ
瀬田の拠点は環八で
若者向きのまちづくり
アメリカ村とゆうよりも
ファッションビルの出現で
女性の魅力がまじまじ出
てくるよ、として、呉がら
（ホントカナア...?）

再開発の問理
新子線は走り出す
箱崎までの近見だ
待って、バスマに飛びのれよ
成田空港直結だ
おまじまが出来るなら
何門ア、ドコでもお手のもの
海へ旅行とシッレたいわ
此んな企画がドクドクと
海をくぐると聞いてます
海をくぐると聞いてます
ガカリ此のせみ変わる
此の目でゾッと懼かぬ
乗ってみようじゃア、クワイ
其の為健康第一に
あなたもわたしもガン張って
丈夫で長生きせよニヤならぬ
お願ひしたいと思つてあり
ます。皆様のご協力を
お願いいたします。

“ひろば”ご希望の方は玉川第五出張所においてありますのでどうぞ。

郷土紹介 玉川村の頃

玉川地区の玉川地域では、玉川支庁をはじめ、警察署、消防署、保健所等々官公庁の他、商店や学校の名前に「玉川」という名が多く使われていますが、この「玉川」の呼称にも、それなりの歴史的背景があります。

明治維新を迎えて江戸時代の旧村は新政府の下でいくつかの行政管轄に組み替えられた後、明治二十二年（一八八九）市町村制度に伴い、この地に東京府荏原郡玉川村と、合併村が誕生しました。玉川村を形成した旧村は瀬田、用賀の他、野良田、上野毛、下野、寺ヶ窪、尾山

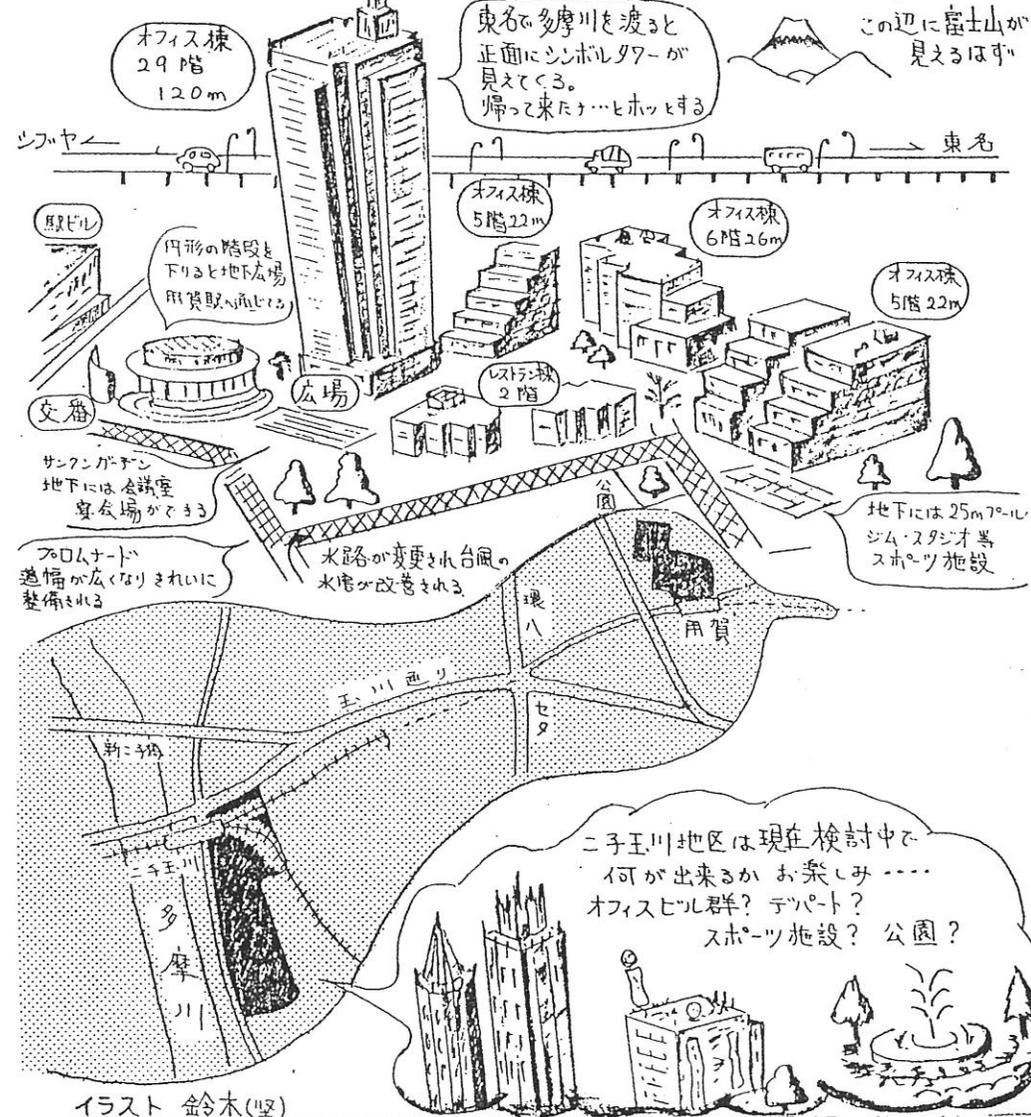
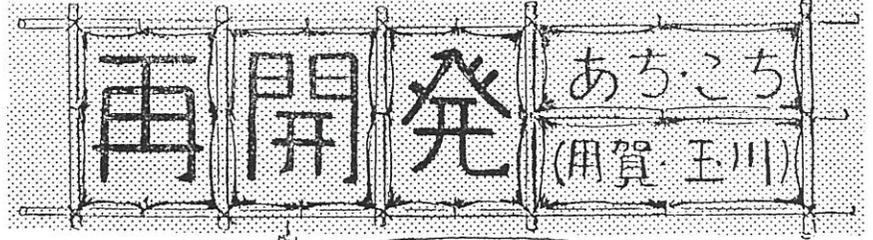


イラスト 鈴木(堅)

奥沢の計八ヶ村で合併された村々は僅かなく、数多くの村を合併する事になる為、どの村の名を採る訳にはいかず、各村々と関係の深い多摩川（玉川）の名前をとって新村名にしたと言われています。発足当初の戸数は八三六戸、村役場は等々に置かれ、村内の学校は、玉川、京西、八幡の三小学校のみでした。

この玉川村は、その後四十三年間続き、昭和七年大東京市制による世田谷区の成立によって、その役割を終えました。

奇しくも、今年に玉川村誕生から一〇〇年、玉川地域は区の地域行政新構想の下、新たな歩みを始めるようとしています。

SPOUTスポット 開校百周年を迎える 京曲小学校

明治12年開校以来、地域の皆様の「支援のおかげで百十周年を迎えることができました。次の様な催しを計画しております。

11月29日(水) 全校児童で「子ども祭り」を行い、風船あげ、パレードをして祝います。

12月2日(土) 「記念式典」お客様をお招きして「スライド上映」「呼びかけ」歌などで式をします。

午後3時開会です。

12月の(土)「もちつき」大会し恒例ですが例年より子どもの参加を多くする企画を検討中です。

...中川教頭先生より...
柳田

今日のひろばは、地区の皆さまがたぶん話題にしていると思われる「玉川地域再開発」の、現在の様子をお知らせします。

用賀地区の青空が、出ました。駅前広場に29階のビルを中心とした近代的なオフィス街が出現し、完成するとビル街に出入りの人達を含め、乗降客も増えるでしょう。

又、地元商店街でも再開発が見られる予定です。地区の皆さまは、初め戸惑い、すぐに「わがまち」にすることをしよう。

二子玉川地区「検討中」が、無事としてあります。

二子玉川地区は現在検討中、何が出来るか お楽しみ... オフィスビル群? テニート? スポーツ施設? 公園?

